

No.	処理工程	No.	項目	大阪府の条件	条件	対応の考え方
1	運搬	1	災害廃棄物運搬者	作業時間 1日8時間 年間250日の半分 (1000時間)	作業時間 1日9時間 年間175日 (1,575時間/年)	【簡易試算】 0.016mSv/年 × 1575h/1000h=0.0252mSv/年
		2	災害廃棄物運搬者	吸入・経口摂取時間 1日20分 年間250日の半分 (42時間)	1日3時間 年間175日 (525時間) (積み込み0.5h × 2回、シート掛け0.25h × 2回、 積み降ろし0.25h × 2回、シートたたみ0.25h × 2回、洗車0.5h)	【簡易試算】 0.0000048mSv/年 × 575h/42h=0.00006571428mSv/年
2	選別施設	1	選別作業 (荷下ろしヤード)	災害廃棄物が幅8m × 長さ18m × 高さ3mの 山積みになっている前1mで選別作業を行う (432m <sup>3</sup> ) 作業時間 1日7時間 年間250日	災害廃棄物が幅15m × 長さ15m高さ3mの山積み (675m <sup>3</sup> )	【簡易試算】 0.05808mSv/年 × 675m <sup>3</sup> /432m <sup>3</sup> =0.09075mSv/年 作業者の対面する廃棄物の間口が効いているとしても、8m→15mであり この15/8倍で0.170mSv/年
		2	選別作業 (コンベアでの手選別)	幅1.2m × 長さ30mのコンベアに厚さ25cm の災害廃棄物が載せられ、その前で選別作 業を行う 作業時間 1日7時間 年間250日 (9時間)	幅2m × 長さ17.9mのコンベアに厚さ40cmの災害廃棄物が載せられ、その 前で選別作業を行う (14.32m <sup>3</sup> )	【簡易試算】 0.02008mSv/年 × 14.32m <sup>3</sup> /9m <sup>3</sup> =0.03194951111mSv/年
		3	選別作業	作業時間 1日7時間 年間250日 (1750時間)	作業時間 1日8時間 年間 平日の日数(250日) (2000時間)	【簡易試算】 平場 0.05808mSv/年 × 2000h/1750h=0.06637714285mSv/年 コンベア 0.02008mSv/年 × 2000h/1750h=0.02294857142mSv/年
		1	搬入受付	設定なし	作業時間 1日7時間 年間312日	【類似作業】 埋立基地ダンプ受付作業
					焼却物はダンプの荷台(長さ3.2m、幅2m、高さ1m)に入っている。 人はダンプ荷台に接する位置にいる。 作業時間 1日7時間 年間310日	【簡易試算】 0.15453mSv/年 × 2184h/875h=0.38570688mSv/年
		2	焼却物積み降ろし作業	設定なし	ごみピットへの投入、確認を行う人。 作業員はプラットフォーム上にいる。 作業時間 1日1時間 年間310日	【類似作業】 選別作業 平場(作業時間 1750h/年) 0.05808mSv/年
		3	ごみクレーン運転作業	設定なし	ごみピットのクレーンの運転者(遮蔽されている) 作業時間 1日6時間 年間310日 (1860時間)	【類似作業】 埋立基地ダンプ受付作業 【簡易試算】 0.15453mSv/年 × 1860h/875h=0.32848662857mSv/年
		4	焼却炉補修作業	焼却能力450t/日の焼却炉で災害廃棄物の みを焼却した炉の内部で補修作業 作業時間 年間600時間	作業時間 年間1248時間	【簡易試算】 0.050382mSv/年 × 1248h/600h=0.10479456mSv/年
					焼却能力270t/日の焼却炉 作業時間 年間700時間	
5	焼却炉整備	設定なし	作業時間 1日5時間	【類似作業】 焼却炉内補修作業: 炉内作業時間600h/年→0.050382mSv/年		
6	灰溶融炉補修作業	作業時間5時間 年間27日 2基分 (年間 270時間)	作業時間4時間 146回 (年間 584時間)	【簡易試算】 0.0401634mSv/年 × 584h/270h=0.08687194666mSv/年		

3 焼却施設

7	焼却灰積み降ろし作業者	ホッパー(焼却灰保管場所)からダンプに焼却灰を積み込み 作業時間 年間125時間	ダンプによる運搬+積み降ろし作業 作業時間 年間1095時間	【簡易試算】 0.0200786mSv/年 × 1095h/125h=0.175888536mSv/年
			クレーン操作室で操作(灰から10mの距離、ガラスで遮蔽) 作業時間 年間600時間	
			作業時間 年間312時間(運転委託)	
			灰ピット(3.7m×15m×4.9m)から、灰クレーンにより4tダンプに灰を積み込む。(操作室からの作業) 作業時間 1日0.8時間 年間360日 (年間 290時間)	
8	溶融固化物積み降ろし作業	作業時間 10分 640回 (年間 110時間)	ストックヤード(300m3×3区画)で、ホイールローダで積み込み作業を行う。 作業時間 30分 295回 (年間 148時間)	【簡易試算】 0.02mSv/年 × 148h/110h=0.0269090909mSv/年
9	設備保守点検・清掃・異物運搬・飛灰運搬作業	設定なし	炉内に入るのは年間1日程度、他は炉の周辺での作業 作業時間 年間800時間	【類似作業】 焼却炉内補修作業者:炉内作業時間600h/年→0.050382mSv/年
10	焼却炉運転作業	設定なし	運転管理室での作業(隔離) 作業時間 年間7400時間(焼却炉稼働時間、3交代) (作業者1人あたり2467時間)	【類似作業】 埋立基地ダンプ受付作業 【簡易試算】 0.15453mSv/年 × 2467h/875h=0.43568629714mSv/年
11	焼却灰運搬ダンプ運転者	作業時間 1日8時間 年間250日の半分 (1000時間)	作業時間 1日10.7時間 年間260日の半分 (1391時間)	【簡易試算】 0.156054mSv/年 × 1391h/1000h=0.217071114mSv/年
12	灰除去作業	設定なし	灰押し装置の補助作業として、過度に堆積した焼却灰を鋤く 作業時間 年間407時間	【類似作業】 焼却炉内補修作業者:炉内作業時間600h/年→0.050382mSv/年
13	灰クレーン点検・バケット洗浄作業	設定なし	灰クレーンの点検及びバケットの洗浄作業 作業時間 年間261時間	
14	焼却灰積み込み場床面清掃作業	設定なし	作業時間 1日0.5時間 年間244日	
15	灰ピット室内保守管理作業	設定なし	作業時間 年間125時間	
16	飛灰処理作業	設定なし	作業時間 年間125時間	【類似作業】 焼却炉内補修作業者:炉内作業時間600h/年→0.050382mSv/年
17	灰コンベア室内保守管理作業	設定なし	作業時間 年間125時間	
18	廃棄物の減量率	混合灰 10%	飛灰 3%(飛灰のみを取り扱う作業あり) 混合灰 14.5%	飛灰中の放射性物質濃度:100Bq/kg×100/3=3333Bq/kg 【対応の選択肢の例】 1 受け入れない。 2 災害廃棄物を、通常の一般廃棄物の60%以下の割合で混焼する。

4	運搬	1	焼却灰運搬	作業時間 1日8時間 年間250日の半分 (1000時間)	作業時間 1日7時間 年間312日 (2184時間)	【簡易試算】 $0.156054\text{mSv}/\text{年} \times 2184\text{h}/1000\text{h} = 0.340821936\text{mSv}/\text{年}$
		2	熔融固化物運搬	作業時間 1日8時間 年間250日の半分 (1000時間)	作業時間 1日8時間 年間250日 (2000時間)	【簡易試算】 $0.126054\text{mSv}/\text{年} \times 2000\text{h}/1000\text{h} = 0.252108\text{mSv}/\text{年}$
5	最終処分場	1	埋立基地ダンプ受付	ダンプで運搬された焼却灰を荷台に接する位置の高さ1mから確認する。 作業時間 1日3.5時間 年間250日 (875時間)	焼却灰を運搬されたダンプに接近し運転手から計量伝票を受け取る。 作業時間 1日8.5時間 年間180日 (1530時間)	【簡易試算】 $0.15453\text{mSv}/\text{年} \times 1625\text{h}/875\text{h} = 0.28698428571\text{mSv}/\text{年}$
				作業時間 1日6.5時間 年間250日 (1625時間)		
		2	埋立物一時置き場作業	埋立物が130m×35mの一時置き場に2cmで薄く堆積しており、その一角に長さ100m×幅10m×高さ1.5mの埋立物の山がある。 薄く堆積した物の上で、かつ、埋立物の山の前1mでの作業を想定。 作業時間 1日7時間 年間250日 (1750時間)	作業時間 1日8時間 年間 平日の日数(250日) (2000時間)	【簡易試算】 $0.50106\text{mSv}/\text{年} \times 2000\text{h}/1750\text{h} = 0.57264\text{mSv}/\text{年}$
		3	埋立場所作業	埋立場所(無限平面)に廃棄物を3m埋め立てた上で作業 作業時間 1日6時間 年間250日 (1500時間)	作業時間 1日7時間 年間310日 (2170時間)  作業時間 1日8時間 年間 平日の日数 (2000時間)  作業時間 1日7時間(実際の作業時間) (1750時間)  作業時間 1日7時間30分 年間310日(H24 最大) (2325時間)	【簡易試算】 $0.86091\text{mSv}/\text{年} \times 1750\text{h}/1500\text{h} = 1.004395\text{mSv}/\text{年} \sim$ $0.86091\text{mSv}/\text{年} \times 2325\text{h}/1500\text{h} = 1.3344105\text{mSv}/\text{年}$ 【対応選択肢の例】 1 受け入れない。 2 作業時間を年間1500時間以下にする。
4	処分場浸出水処理作業	設定なし	処分場浸出水処理施設で、汚泥等を取扱う作業員(4人) 1人あたりの作業 調整槽清掃(16時間)、汚泥貯留槽清掃(8時間)、活性炭交換作業(4時間):年間28時間 遮蔽なし、吸入・経口摂取が想定される。	※ 原水、汚泥、放流水の濃度で管理。		